

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒
埼玉県草加市稲荷 5 丁目



| | |
|----------------------|---|
| 試験名称 | 床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験 |
| 依頼者 | 会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市井戸場 8 4 - 9 |
| 試験体 (依頼者 提出資料) | 1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：チビクリⅡ CKⅡ床合板仕様（隅柱型） 用途：柱の仕口に使用する金物（隅柱型） 寸法：65×30×30 mm, 板厚 1.6 mm 2. 接合具 木ねじ：柱側；φ5.2×45, 3本使用, 横架材側；φ5.2×75, 3本使用 3. 使用軸組等 柱及び横架材：樹種；すぎ, 寸法；105×105 mm 床合板：構造用合板（JAS1 類 1 級）, 厚さ 30 mm 4. 試験体数 7 体（うち 1 体は予備試験体） 参照：図-1 及び図-2（試験体の形状・寸法） |
| 試験方法 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年度版）（企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の 6 章「試験方法と評価方法」に従って行った。試験方法を図-3 に示す。 |
| 試験結果 | 耐力算定基礎資料：表-1 短期基準引張耐力（Pot）：5.4 kN 荷重-変位曲線：図-4～図-6 破壊状況：写真-1～写真-6 |
| 備考 | 当該試験結果から、厚さ 30 mm の床合板を介した柱-横架材接合部に使用する接合金物「チビクリⅡ CKⅡ床合板仕様（隅柱型）」は、必要耐力 5.1 kN（T 字型かど金物くぎ CN 65×10 本, 山形プレート金物くぎ CN 90×8 本）以上であることが明らかとなったため、 平成 1 2 年建設省告示第 1 4 6 0 号表三（は）に定める接合方法の性能を満足する。 |
| 試験期間 | 平成 2 4 年 1 月 1 1 日及び 1 2 日 |
| 担当者 | 構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 守屋 嘉晃 試験実施者 守屋 嘉晃 宮下 雄磨 |
| 試験場所 | 中央試験所 |